



(一社) 沖縄県労働基準協会  
那覇支部

支部長 **仲西 聡**

あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えることと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は支部運営につきまして、那覇労働基準監督署をはじめ関係行政機関、協会本部及び各団体の皆さまのご指導を賜るとともに、会員事業場の皆様にはご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、昨年の沖縄は観光関連産業が回復基調となり、社会全体に明るさが戻った一年でした。文化・スポーツ分野では、沖縄尚学高校が夏の全国高校野球選手権大会で優勝し、県民に大きな感動と誇りをもたらしました。選手の皆様の懸命な努力と勝負所での力強いプレー、そして団結力は、多くの人々に希望と勇気を与えてくれました。また、首里城では火災消失から6年を経て象徴である赤色の鮮やかな正殿の姿が再び現れ、再建が着実に進んでいる様子が県民の大きな励みになりました。このように、令和7年は経済・文化・スポーツの各方面において、社会が前向きな一歩を刻んだ一年であったと感じております。

当支部では、安全管理推進大会や労働衛生管理推進大会、那覇支部安全衛生部会の活動における勉強会や那覇労働基準監督署の安全衛生講話など活発に実施してまいりました。

近年は、働き方改革や人手不足への対応が進む中、従



本部・那覇支部職員

業員の健康を経営課題として捉える「健康経営」の重要性が一段と高まっております。心身の健康は、労働災害防止のみならず、生産性の向上や職場定着にも大きく寄与するものであり、当支部といたしましても、会員事業場の皆さまが健康経営に取り組みやすい環境づくりを推進してまいります。

その一環として、1月下旬には健康づくりシリーズ第4弾「笑って・動いて・リフレッシュ!!交流レク2026」を開催いたします。フロアカーリングやバルーンを活用したレクリエーションを通じ、年齢を問わず気軽に楽しみながら体を動かしていただき、会員皆様の健康増進と、職場を越えた交流の促進を図ってまいります。新年の良きスタートを会員の皆様とともに切りたいと存じます。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

新年を迎えるにあたり、当支部といたしましては、関係行政機関との連携を一層密にし、会員の皆様のご支援とご協力を賜りながら、支部活動の充実に向け職員一同努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、健康で実り多い一年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



那覇労働基準監督署

署長 **小池 雅弘**

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、明るく希望に満ちた新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、旧年中は労働基準行政の運営につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県内においては、昨年も観光産業をはじめとして景気が回復から拡大基調にある一方、物価高騰、人材確保などの問題などが続いています。

そういった状況の中、大幅な引き上げとなり、昨年12月1日から時間額1,023円となった沖縄県最低賃金、改正労働安全衛生規則施行に伴い義務化された熱中症予防対策、令和6年4月から全面適用となりました時間外労働上限規制への対応等、当署においても各種施策等の周知や支援など行ってまいりました。

本年も、昨年5月14日に公布された改正労働安全衛生



那覇労働基準監督署職員

法が順次施行されます。改正法では、例えば、既存の労働災害防止対策に個人事業者等(中小企業事業主又は役員含む)も取り込み、労働者のみならず個人事業主等による災害防止を図るための措置等が設けられます。また、ストレスチェックについて、努力義務となっている50人未満の事業場につきましても、ストレスチェックや高ストレス者への面接指導の実施が義務付けられます。今後当署におきましても、各種説明会等の場で周知を進めてまいります。会員各社の皆様におかれましても適切な対応をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。